

# 稲毛田地区防災計画



令和7年4月  
稲毛田自主防災会

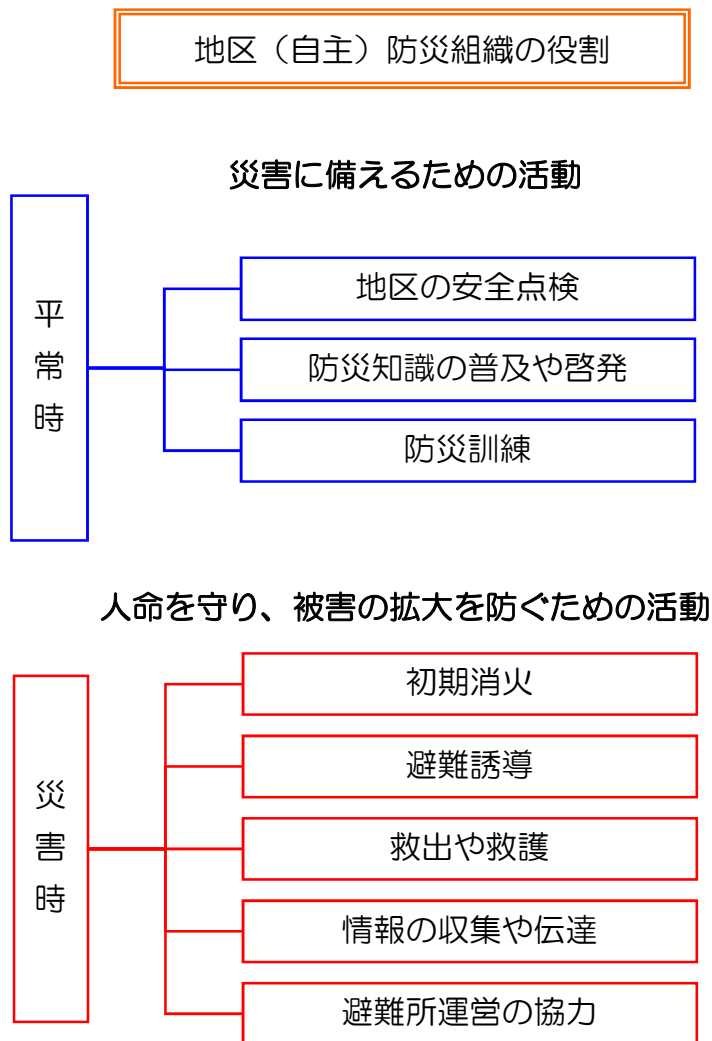
# 1 基本方針

災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのようなとき、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

「東日本大震災」や「熊本地震」、令和6年元日に発生した「能登半島地震」の際、被災者の救出に当たって活躍したのは地域の住民等であり、災害時には、自分の身は自分で守る「自助」はもちろんのこと、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが、共に支え助け合う「共助」が重要です。

「災害は忘れた頃にやってくる」私たちの地区では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

この取組を計画的に推進するため、地区住民を主体とした防災組織を構築し、この行動の規範としての「稲毛田地区防災計画」を定め、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」、「共助」を着実に実行するため、この計画に基づく施策・事業などに取組み、地区の防災力を高めていきます。



## 2 計画対象地区と策定主体

### (1) 計画対象地区

「稲毛田地区防災計画」は、稲毛田地区（一部祖母井、芳志戸地区を含む。）及びその住民を対象として定めます。

※対象地区は別添、稲毛田地区防災マップ（みんなの安心・安全マップ）参照。

### (2) 計画策定主体

「稲毛田地区防災計画」は、稲毛田自主防災会が定めます。

## 3 地区の特性と予想される災害

### (1) 地区の特性

芳賀町芳志戸から益子町大和田のかけてのいわゆる「稲毛田台地」に位置し、地質は、稲毛田段丘礫層と呼ばれる、非常に軟弱な地層の上にある。

東側の一段低い地域を南北に、一級河川大川が流れているが、水辺近くに人家は少なく、家屋への浸水被害は小さい。

また、土砂崩が危惧されるような急傾斜地は少ない。

### (2) 予想される災害

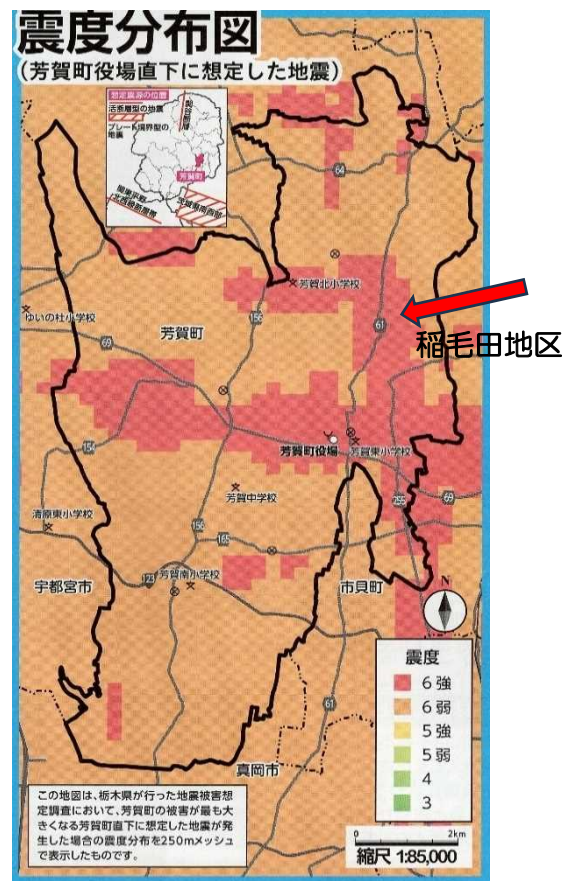
#### ①地震による災害

地域の特性に示したとおり、軟弱地盤の上に位置することから、家屋の倒壊が非常に大きな確率で予想される。事実、先の東日本大震災では、地区内で人的被害は無かったものの、家屋の全倒壊及び半倒壊が複数発生した。また、それに伴う火災の発生も危惧される。

（※稲毛田地区では、昭和35年3月に、いわゆる「稲毛田の大火」（失火によるものではあるが）が発生し、48棟が消失した経験がある。）

#### ②集中豪雨(ゲリラ豪雨)や台風による被害

大川流域には人家は少なく、家屋への浸水被害も小さいが、農地への浸水被害は想定しておく必要がある。また、地区の東側に丘陵地があるが、土砂崩れ等が発生することは極めて少ないと思われる。



## 4 活動内容

### (1) 平常時の取組

自主防災組織や地区で協力し、「共助」を実施していくためにも、まずは自分や家族で身を守る「自助」の取組は必要不可欠です。

また、いざというときに地区の力が発揮できるよう、地区のみんなで協力して防災活動に取り組めます。

#### ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地区住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

#### イ 地区の安全点検

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地区の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

また、各家庭で家具転倒防止器具の取り付けを推進することで、家具転倒による二次災害の発生を防止します。


- ・室内の危険箇所の点検をする。
- ・安全対策、転倒防止策などの検討をする。
- ・家具の設置場所の変更や転倒防止器具の取り付けをする。

#### ウ 防災用品の整備

防災資機材は、災害発生時に役立ちます。地区で防災資機材を整備し、日頃の点検や使い方を確認します。

また、各家庭での非常用備蓄品の啓発活動を行い、日頃から災害に対する備えを推進していきます。

### エ 生活用水の確保（⇒災害時協力井戸）

※稲毛田地区防災マップ（みんなの安心・安全マップ）の青 

災害時に最も必要となるのが生活用水である。

地域内には60箇所（令和6年8月現在）の井戸について、災害時に住民誰でもが利用できる状態を確保している。

#### オ 防災訓練

防災訓練は、いざという時、あわてず、的確に対応するための欠かせない活動です。地区住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

### (2) 災害時の取組

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。

公共機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて被害の軽減に向けて活動します。

## ア 地震発生時

### ① 災害発生直後の行動

- 身の安全を確保するシェイクアウト行動をとります。  
(姿勢を低く、頭をまもり、じっとする)
- 避難時は電気器具等の電源を切り、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めます。
- 停電から復旧した通電火災等の二次災害発生を防止します。
- 家族等の安否確認や屋内の安全確保をします。
- 災害情報を取得します。

### ② 安否確認

- 自分と家族に被害がない場合、玄関やドアノブなどに安否確認板等を掛け、無事を知らせます。
- 安否が不明な場合は、救出・救護班と一体となり、安全確保を行いながら救助活動を行います。
- 市外などに避難する場合は、班長等に連絡します。

### ③ 初期消火

- 火災発生発見時は、大声で隣近所に伝え、応援をもらうとともに、消火器等で初期消火に努めます。
- 火が大きくなり、消火が困難な時は初期消火を中止し、身の安全を守るため避難し、消防機関へ通報します。

### ④ 救出・救護活動

- 救出・救護が必要な場合は、救出・救護班を中心に地域の住民等と協力し合って安全確保を行いながら活動します。
- 日頃から、救助活動で活用できる資機材等は日頃から管理しておきます。

### ⑤ 避難行動

地区の集合場所へ集合した住民のうち、家屋の倒壊などで、自宅で生活ができない住民は、最寄りの避難所へ避難し、避難者名簿を作成します。

## イ 風水害発生時

### ① 災害発生時の行動

- テレビ、ラジオ及びインターネット等により気象情報、災害情報を収集します。
- 水害、河川の氾濫が危ぶまれるときは、避難の準備等を早めに済ませます。
- 「高齢者等避難」が発令されたら、避難に時間を要する高齢者等は、早めの避難を開始します。

## 5 避難行動要支援者支援計画

避難行動要支援者とは、災害が発生したときなど安全な場所へ避難が必要な場合に、自分や家族の力だけでは避難できない人たちのことです。こうした避難行動要支援者を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。

### (1) 避難行動要支援者名簿を活用した支援の実施

町から提供される「支え合い活動対象者名簿」は、災害時の支援（安否確認、避難誘導）のために活用する名簿です。

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障害者、子供など、人の助けを必要とする人々です。避難行動要支援者の支援をする際に、「支え合い活動対象者名簿」を活用します。

### (2) 避難行動要支援者等への支援

ア 避難行動要支援者の把握に努める。

新たな同意者の把握に努めるとともに、住所変更などがあった場合には、市へ情報を提供します。

イ 避難するときは、しっかり誘導する。

近所の助け合いが重要です。一人の避難行動要支援者に複数の避難支援者を決めておきます。

ウ 困った時こそ温かい気持ちで接する。

非常時こそ、不安な状況に置かれている人にやさしく接する必要があります。困っている人や避難行動要支援者には、思いやりの心を持って接します。

エ 日頃から積極的にコミュニケーションを図る。

いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に避難行動要支援者とのコミュニケーションを図ります。

### (3) 避難行動要支援者ごとの支援体制の確立

- 避難行動要支援者は身体面、精神面などで様々な点で周囲の支えを必要とするため、それぞれの特徴を十分に踏まえた避難行動、避難生活などを考慮しておく。
- 災害時の具体的な支援内容や支援者、避難方法を要支援者やその家族と話し合い、あらかじめ支援体制を決めておく。（※稲毛田みまわり隊の活動など）
- 支援者自身が被災することも想定されるので、複数人の支援者を選定しておく。
- 支援者は、本人とその家族の安全が図られて、はじめて支援が可能となることから、あらかじめ要支援者に理解を得る。

## 6 地区の防災対策（具体的な対策）

### (1) 防災体制

別紙「稲毛田自主防災会組織表」のとおり

## (2) 活動体制

地区対策本部の立ち上げの判断は、稲毛田地区自主防災会長の指示のもと、各対策班の班長の招集により、地区対策本部を「稲毛田公民館」に立ち上げます。

地区対策本部の立ち上げ後は、以下の対策班を基に、災害対応を実施します。

### 【災害時の活動内容】

#### ア 組織活動の全体把握、組織の全体調整（総務班）

組織全体の動きを把握するとともに、被害情報や今後の災害の移り変わりなどから、組織の活動体制を決定します。

#### イ 情報の収集・伝達（情報広報班）

公共機関などから正しい情報を収集し、地区住民に伝達します。また、地区の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、防災機関へ報告します。

#### ウ 初期消火活動（情報広報班）

火災が発生した場合、消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動などを行います。

#### エ 救出・救護活動（避難誘導班）

自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

また、医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所等へ搬送します。

#### オ 避難誘導（避難誘導班）

地区住民を避難場所などの安全な場所へ誘導します。

#### カ 給食・給水活動（資機材整備・避難所班）

地区で必要な物資を把握し、公共機関とも連携しながら、必要に応じて避難所等で炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

#### キ 避難行動要支援者の支援（要支援者対応班）

避難行動要支援者の安否確認、避難の支援を行います。

#### ク 避難所の運営委員会の立ち上げ（自主防災会長、自治会長ほか）

避難所開設に伴い、避難所運営委員会を立ち上げ、行政と連携し避難所運営に携わります。

### (3) 地区の連絡網

避難場所 (災害対策本部)	稲毛田公民館（臨時避難所） 稲毛田地域体育館（ペット可）	※ 臨時避難所に地区災害対策本部を設置する。
	※一時避難として各地区の公民館も可能とする。	
災害時の連絡先	連絡先	電話番号
	芳賀町役場（代表）	028-677-1111
	真岡消防署芳賀分署	028-677-0212
	真岡警察署祖母井駐在所	028-677-0004
	芳賀中部上水道事業団	028-677-1661
	東京電力	0120-982-299
	NTT 東日本栃木支店	028-615-7541
	災害用伝言ダイヤル	171
	災害用伝言版 Web	<a href="https://www.web171.jp">https://www.web171.jp</a>
	芳賀町地域包括支援センター	028-677-6080
	芳賀町社会福祉協議会	028-677-4711

### (4) 防災資機材等

保有防災資機材（稲毛田公民館倉庫）

資機材（目的別）	
目的	資機材内容
① 情報収集・伝達	トランジスタメガホン、スタッフ用ビブス、住宅地図、メモ帳、油性マジック等
② 救護	救急箱、テント、毛布、防寒アルミシート、ビニールシート等
③ 避難所運営	発電機、電工ドラム、ガソリン携行缶、パーテーション、エアベッド、ウレタン敷物、毛布、投光器、大型扇風機、懐中電灯、マスク、体温計、消毒液、等
④ 給食・給水	炊飯装置、鍋、こんろ、使い捨て用食器、ゴミ袋、給水タンク、クーラーボックス等
⑤ 訓練・啓発	災害時持出リュック、非常用トイレ、非常用備蓄品等
⑥ その他	

## 7 地区防災マップ

別紙「稲毛田地区防災マップ（みんなの安心・安全マップ）」

- ・避難場所 ・避難経路 ・消防関係部署 ・災害時協力井戸 ・商店
- ・防災器具庫等（防災倉庫、消火栓、消火器など）
- ・危険な場所（交通事故多発、河川の氾濫、土砂崩れ、用水路など）

# 稲毛田自主防災会組織表

任期 令和 年 月 日～令和 年 月 日まで

稲毛田自治会
会 長

## 稲毛田自主防災会役員

会 長	副会長	副会長	会 計	アドバイザー
自治会副会長	自治会副会長		自治会会計	防災士 (地区内の防災士)
総務班長	情報広報班長	要支援者対応班長	資機材整備・避難所班長	避難誘導班長
自治会幹事	稲毛田公民館長	自治会幹事	自治会監事	自治会監事

総務班	情報広報班	要支援者対応班	資機材整備・避難所班	避難誘導班
各行政区長	消防団	民生委員 集落公民館長 公民館役員	子供会育成会役員 女性防火クラブ	スポーツ協会 而今荘責任者 芳賀町土地改良区 北部第3地区代表

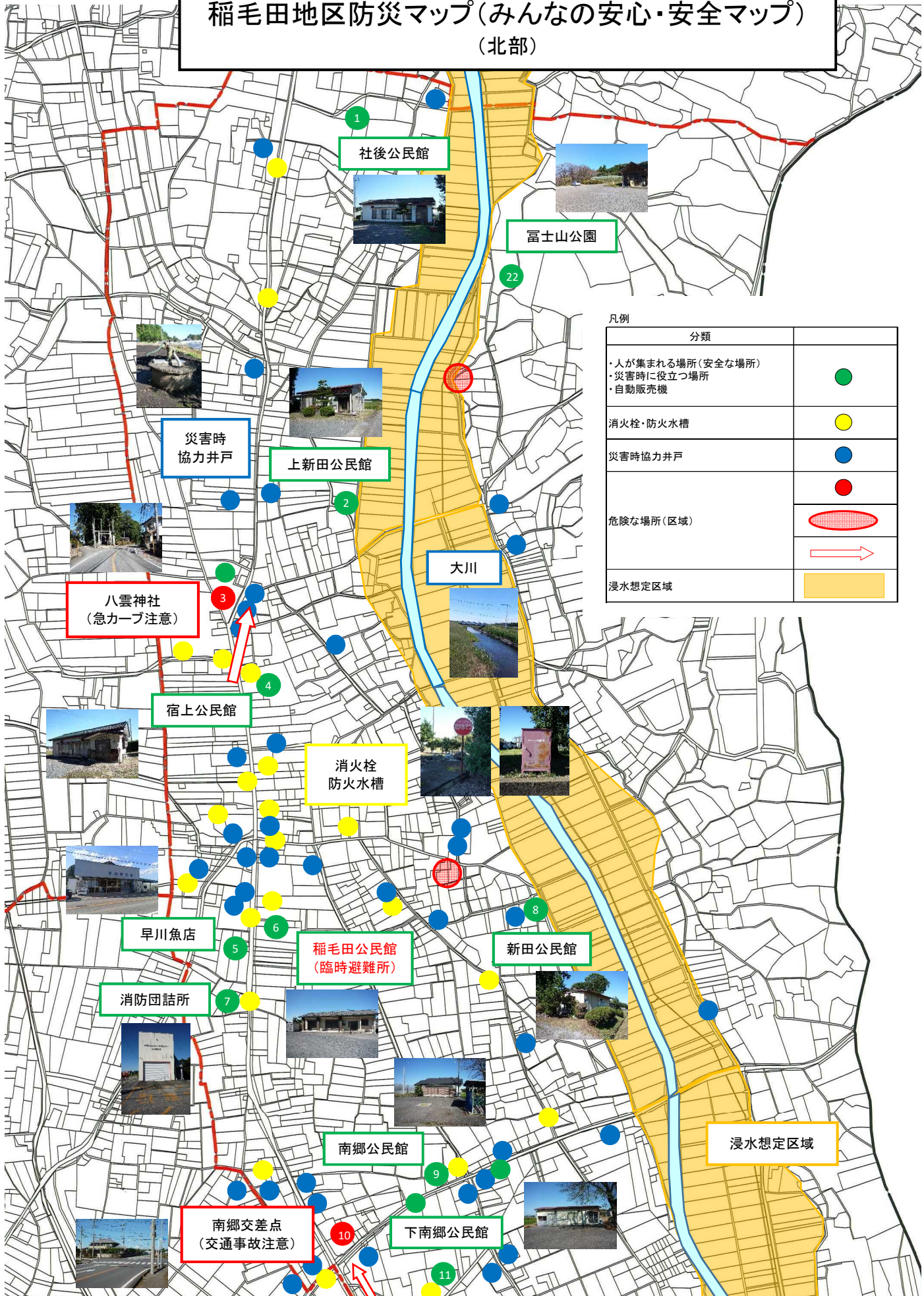
## 役 割

各班の総括 芳賀町その他組織と の連携	情報の収集及び伝達	避難行動要支援者の 安否確認情報の収集	防災避難所の開設及 び運営 給食及び給水	避難誘導
---------------------------	-----------	------------------------	----------------------------	------

◎：リーダー

○：サブリーダー

# 稲毛田地区防災マップ(みんなの安心・安全マップ) (北部)



凡例

分類	
・人が集まれる場所(安全な場所) ・災害時に役立つ場所 ・自動販売機	● (Green)
消火栓・防火水槽	● (Yellow)
災害時協力井戸	● (Blue)
危険な場所(区域)	● (Red with cross)
	→ (Red arrow)
浸水想定区域	■ (Yellow shaded)

南郷交差点  
(交通事故注意)

浸水想定区域

# 稲毛田地区防災マップ(みんなの安心・安全マップ) (南部)



凡例

分類	
・人が集まれる場所(安全な場所) ・災害時に役立つ場所 ・自動販売機	●
消火栓・防火水槽	●
災害時協力井戸	●
危険な場所(区域)	●
	○
	→
浸水想定区域	■